

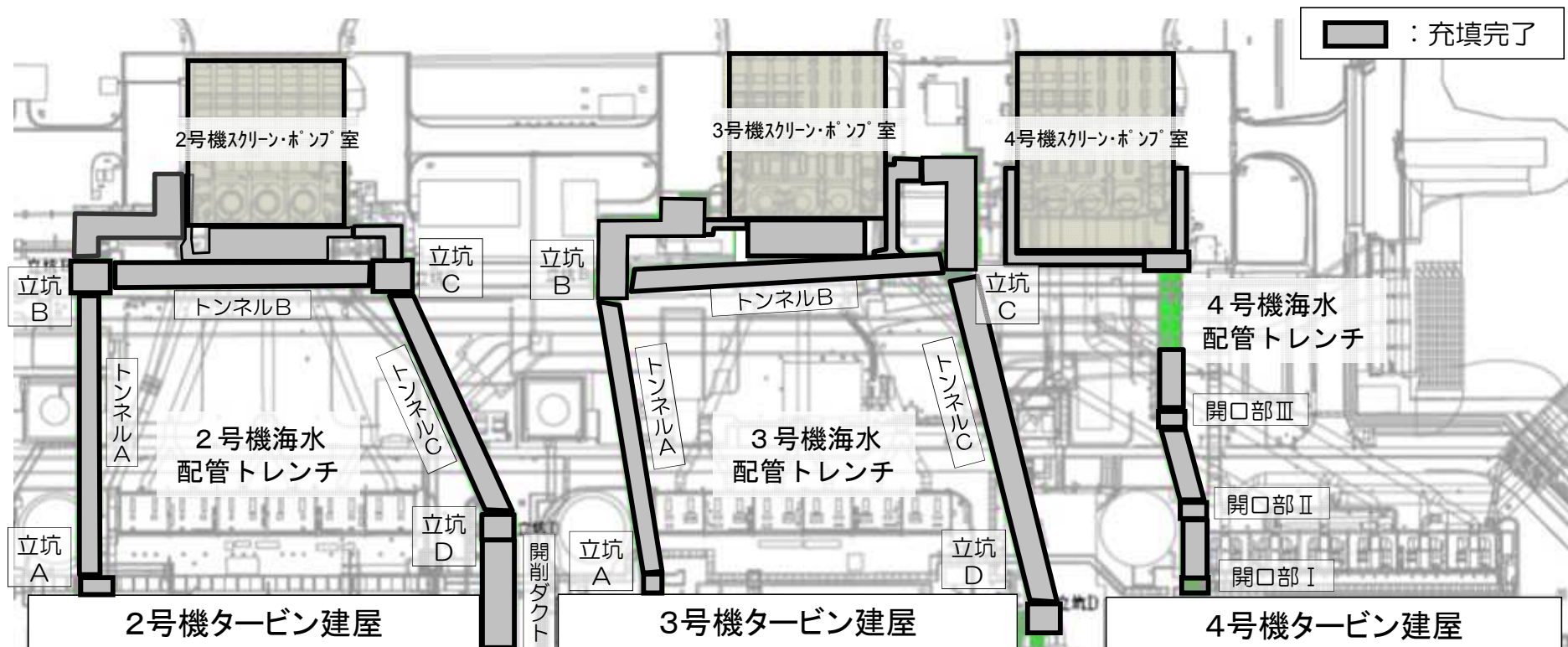
# 2・3号機海水配管トレンチ 汚染水対策工事の完了について

2015年10月14日

東京電力株式会社

# 1. 海水配管トレンチ汚染水対策工事の進捗状況

## ■位置図



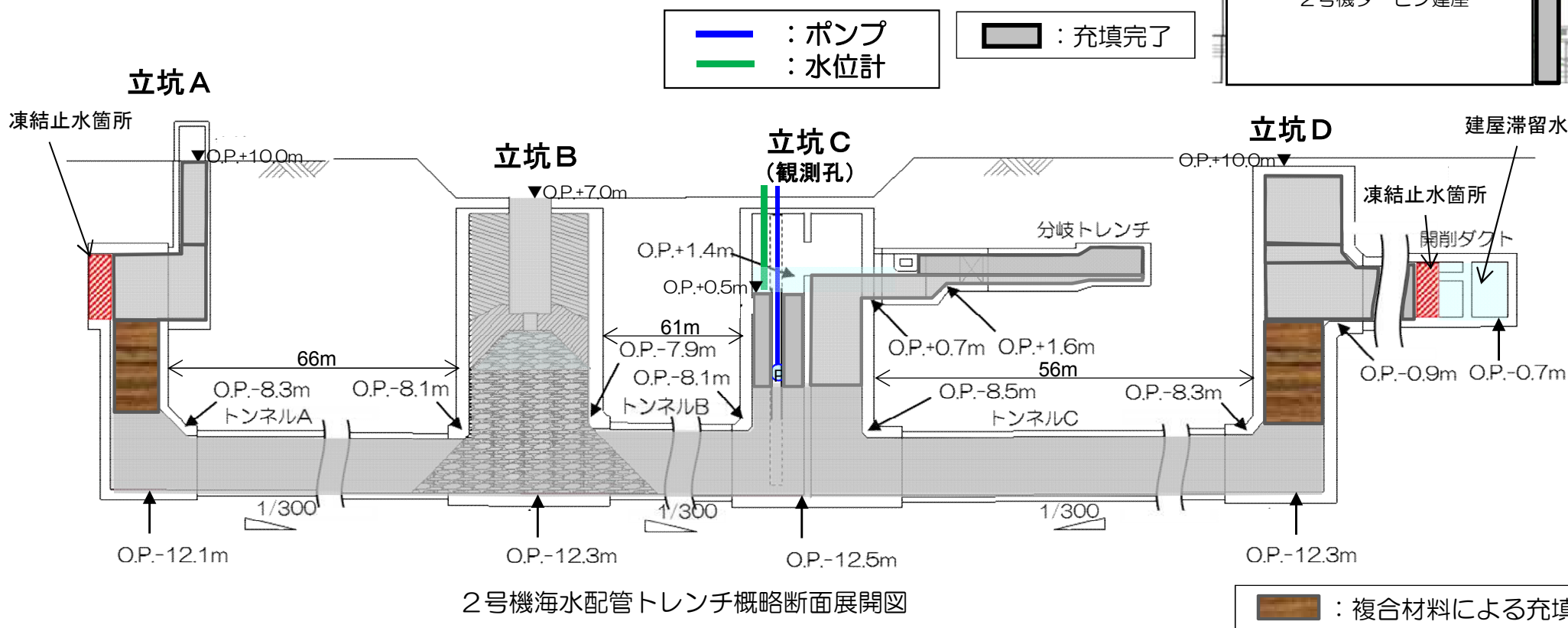
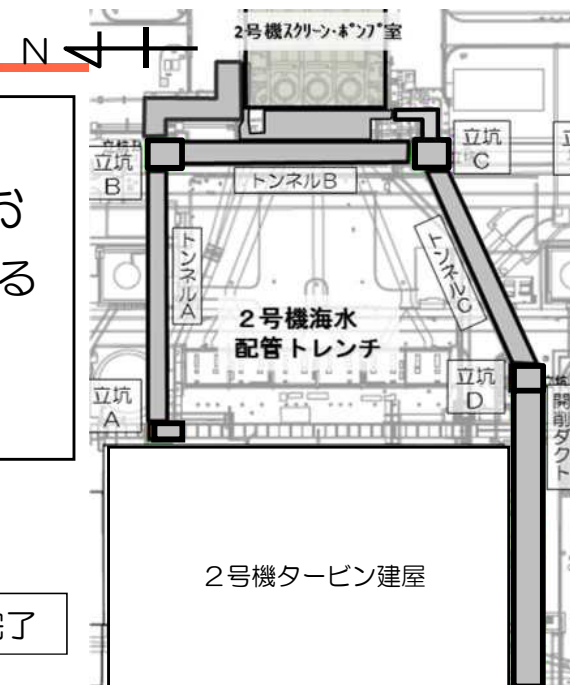
## ■進捗状況(2015年10月13日時点)

| 号機               | 2号機  | 3号機   | 4号機   |
|------------------|--|---|---|
| 状況               | <ul style="list-style-type: none"> <li>トンネル部充填: 12/18完了</li> <li><b>トレンチ内汚染水除去: 6/30完了</b></li> <li>立坑充填: 9/11完了</li> <li>立坑C水位・水質監視: 実施中</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>トンネル部充填: 4/8完了</li> <li><b>トレンチ内汚染水除去: 7/30完了</b></li> <li>立坑充填: 8/27完了</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>トンネル部(開口部 I ~ III間)充填: 3/21完了</li> <li>開口部 II・III充填: 4/28完了</li> </ul> |
| 残滞留水量<br>(除去進捗率) | <p style="text-align: center;"><b>0m<sup>3</sup></b><br/><b>(100%)</b></p>   | <p style="text-align: center;"><b>0m<sup>3</sup></b><br/><b>(100%)</b></p>  | <p style="text-align: center;">約60m<sup>3</sup><br/>(約91%)</p>  |
| 充填量              | 約4,660m <sup>3</sup>   | 約5,980m <sup>3</sup>  | 約630m <sup>3</sup>  |



## 2. 2号機海水配管トレンチの状況

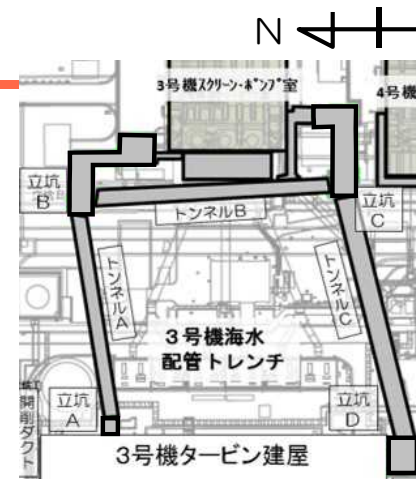
- 6月30日にトレンチ内の汚染水除去が完了。
- 9月11日までに、立坑A・B・D（立坑C分岐トレンチ含む）において地表面レベルまでの充填が完了。（タービン建屋滞留水位を上回るレベルO.P.+4.0mまでの充填は7月10日までに完了）
- 立坑Cにおいて水位・水質の監視を実施中。



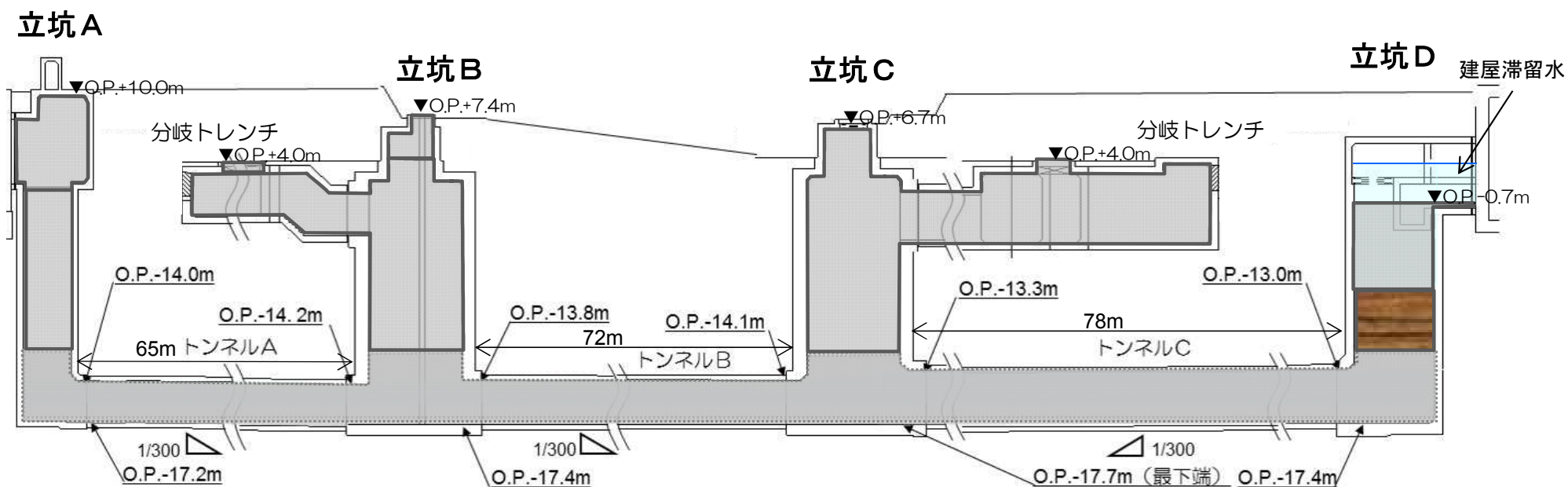
2号機海水配管トレンチ概略断面展開図

### 3. 3号機海水配管トレンチの状況

- 7月30日にトレンチ内の汚染水除去が完了。
- 8月27日までに、立坑A・B・Cにおける地表面レベルまでの充填が完了。



■：充填完了



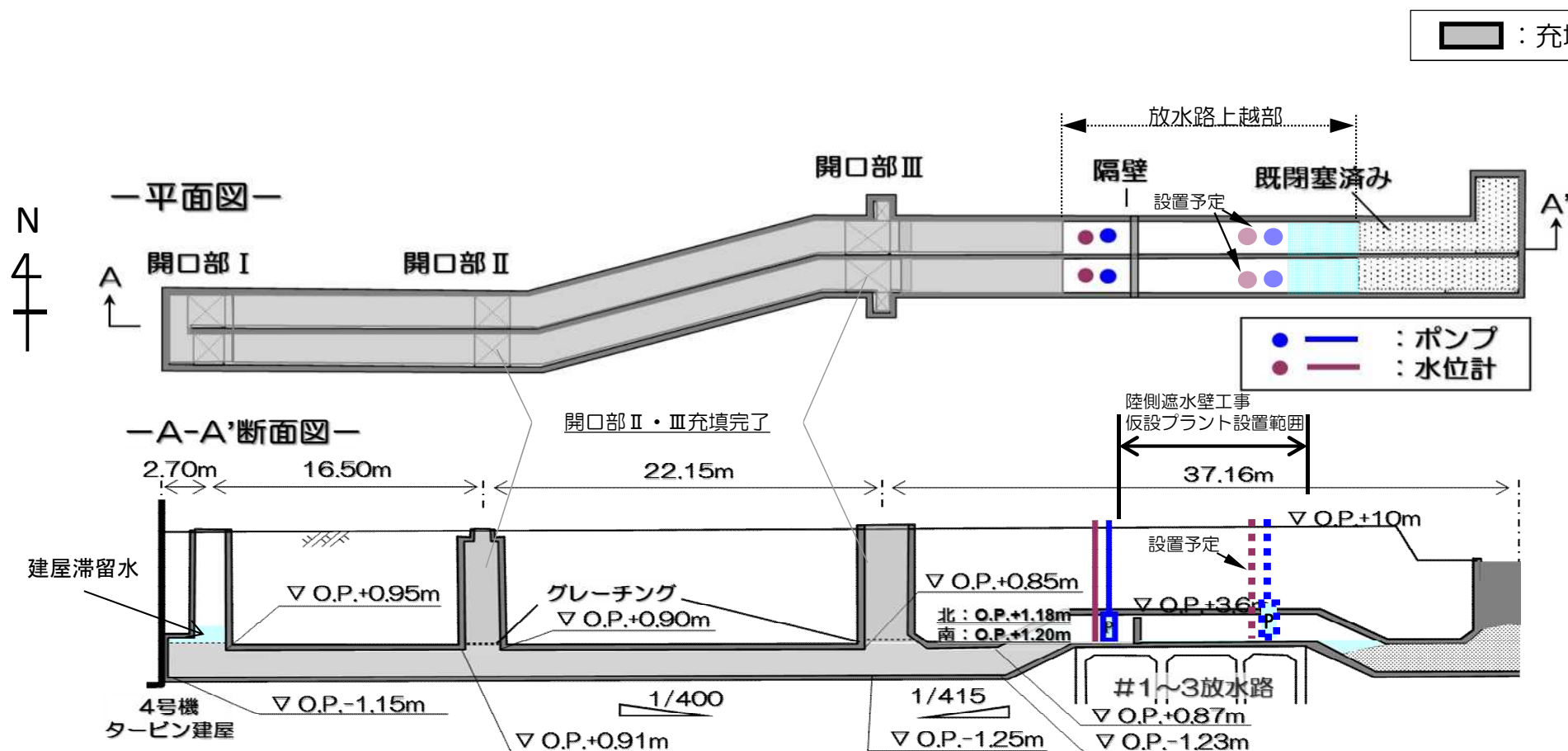
3号機海水配管トレンチ概略断面展開図

■：複合材料による充填



## 4. 4号機海水配管トレンチの状況

- 4月28日までに、トンネル部（開口部Ⅰ～Ⅲ間）、開口部Ⅱ・Ⅲの充填が完了。
- 放水路上越部海側を除き、トレンチ内の汚染水除去が完了。
- 放水路上越部の充填は、陸側遮水壁工事の仮設プラント撤去後の2015年10月末頃から作業を再開し、同12月下旬に完了予定。



4号機海水配管トレンチ概略断面展開図

## 5. 海水配管トレンチの連通性評価・今後の対応について

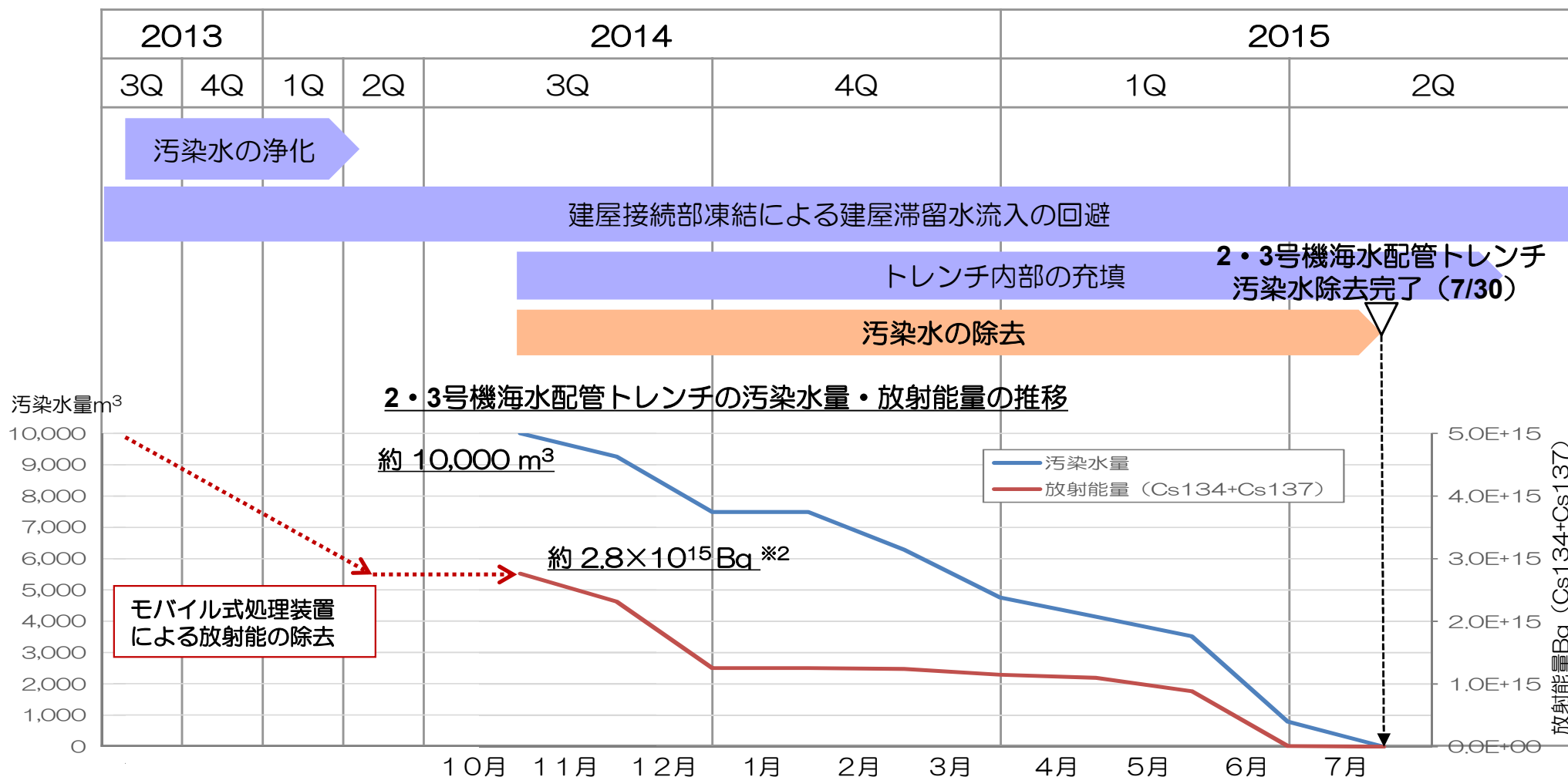
| 号機  | タービン建屋～トレンチ間の連通性評価※  | トレンチ内の連通評価※   | 今後の対応   |
|-----|--|---|---|
| 2号機 | <ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 揚水試験の結果から、凍結止水の効果により<u>ほとんど連通はない</u>ものと評価。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 揚水試験の結果から、<u>連通が残存している可能性あり</u>と評価。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 2号機海水配管トレンチについては、トレンチ内の連通が残存している可能性を考慮し、立坑Cにおいて水位・水質の監視を実施中。</li> <li>➤ 2号機海水配管トレンチの凍結止水については、当面の間運転を継続するものとし、今後の地下水位、建屋水位の状況等を勘案しつつ、凍結解除の検討を行う方針。</li> <li>➤ 引き続き、既設観測孔による周辺地盤の水位・水質監視を実施。</li> </ul> |
| 3号機 | <ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 揚水試験の結果から、トレンチ内の充填により<u>連通はない</u>ものと評価。</li> </ul>    |   |   |
| 4号機 | <ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 揚水試験の結果から、トレンチ内の充填により<u>連通はない</u>ものと評価。</li> </ul>    |   |   |

※第34・35回特定原子力施設監視・評価検討会において報告済

# 6. 海水配管トレンチ汚染水対策の効果について

■ 海水配管トレンチの汚染水対策に取り組んできた結果、7月30日までに2・3号機海水配管トレンチの汚染水（約10,000m<sup>3</sup>）除去が完了し、大幅なリスク低減<sup>※1</sup>に寄与。

(※1) 1～4号機海水配管トレンチおよびタービン建屋内滞留水の放射能量（Cs-134, 137）は、上記対策等により 1 / 10程度に低減。



(※2) 放射能量 (Cs134+Cs137) は、放射性物質濃度と汚染水量の積より推定)